

日本ピア・サポート学会北海道支部	主催
日本ピア・サポート学会	後援
北海道教育委員会	後援
札幌市教育委員会	後援
函館市教育委員会	後援
岩見沢市教育委員会	後援

日本ピア・サポート学会 北海道支部

第20回ピア・サポートトレーナー養成ワークショップ

2026年1月8日(木)～9日(金)

参加者募集中

コロナ禍を経て、それぞれの現場で奮闘している様々な分野の皆様に、敬意を表します。

学校現場では、互いに支援し合い、好ましい人間関係をつくる「ピア・サポート」の導入が強く叫ばれています。このワークショップでは、日本ピア・サポート学会認定「ピア・サポートトレーナー」資格取得認定規定に基づいたカリキュラムを、2日間にわたり行います。ピア・サポート概論からピア・サポートトレーニング、実際のサポート活動、マネジメント等を系統的に学ぶことができます。

修了後は、要件を満たすことで、日本ピア・サポート学会認定ピア・サポートトレーナーの資格申請をすることができます(必ず申請しなければならないということでは、ありません)。

人間関係づくりの指導に関心がある方、学級経営にピア・サポートを活用したい方、職場でピア・サポートを取り入れたい方など、どなたでも受講できます。どうぞ、お気軽にご参加ください。感染対策に十分留意して、お待ちしております。

※北海道支部主催のこのワークショップには、これまでに、管理職を含む多数の教員や教育委員会職員、スクールカウンセラー、保健師、病院心理職、会社員、学童保育指導員等の様々な分野の方が、多数参加されております。

- 日時 2026年 1月8日(木) 9:15～18:30
1月9日(金) 9:10～16:00
- 場所 北海道立道民活動センター「かでの2・7」520 研修室(札幌市中央区北2西7)
(地下歩行空間から北1条地下駐車場連絡口を通り1番出口から徒歩4分)
- 講師 三枝 由佳里(日本ピア・サポート学会理事・研究調査委員、ピア・サポートコーディネーター、大阪市立海老江東小学校校長)
長野 喜美子(日本ピア・サポート学会北海道支部顧問、ピア・サポートコーディネーター、北海道公立学校スクールカウンセラー)
森 美絵子(日本ピア・サポート学会北海道支部支部長、ピア・サポートコーディネーター、函館市立桔梗小学校教諭)
塩見 浩二(日本ピア・サポート学会北海道支部副支部長、ピア・サポートコーディネーター、北海道小樽潮陵高等学校教諭)
岸 美千代(ピア・サポートコーディネーター、旭川明成高等学校教諭)

- 参加費用 一般受講者は15,000円。学生は12,000円。支部会員で再受講者は7000円。
(申込受付後に振込先等をお知らせいたします。)

- 申込先 右記のQRコードまたは下記のURLからお願いします。



https://docs.google.com/forms/d/1X0aB5GQZ_mqR10EnlQayN-f_OMvZpCEzWyOKpfQq12g/preview

※ PDF ファイルを受信できるメールアドレスを、お知らせください。

※事務局からのメールを受信できるように、jpsa.hokkaido@gmail.comを受信できる設定にしてください。

- 締めきり 12月20日(土)まで

- お問い合わせ 日本ピア・サポート学会北海道支部事務局: jpsa.hokkaido@gmail.com
日本ピア・サポート学会北海道支部 HP: <http://peerkita.net/hokkaido/>

<裏面もご覧ください>

★北海道支部 第20回ピア・サポートトレーナー養成ワークショップ

<1日目>

令和8年1月8日(木)

時 間		領 域	講義内容	講師
9:15～ 9:35	20	開講式	オリエンテーション アンケート記入	事務局
9:40～10:45	65	講義1 ピア・サポート概論	定義、歴史、今日的意義、他	長野
10:50～12:00	70	講義2 アイスブレーキング 他者への関心・自己理解他者理解		三枝
(50 分)		(昼食＝各自ご持参ください)		
12:50～14:05	75	講義2 コミュニケーションスキル	講義と演習5, 6, 7, 8	三枝
14:10～15:15	65	講義3 課題解決技法Ⅰ	講義と演習9	三枝
15:20～16:45	85	講義4 課題解決技法Ⅱ	講義と演習 10	三枝 塩見
16:50～17:55	65	実践者からの発表	札幌市立南郷小学校 若林慎二 教諭 札幌創成高等学校 板倉雄司 教諭	
18:00～18:30	30	講義5 トレーニングの基本と留意点	講義	塩見

<2日目>

令和8年1月9日(金)

時 間		領 域	講義内容	
9:10～ 9:25	15	オリエンテーション	1日目の振り返りと2日目の目的	事務局
9:30～10:40	70	講義6 児童生徒のサポート活動づくり	講義と演習 11, 12, 13	森
10:45～11:50	65	講義7 サポート活動の事前・事後	講義と演習 14, 15	岸
(50 分)		(昼食＝各自ご持参ください)		
12:40～13:25	45	講義8 プログラム導入のデザイン	講義と演習 16, 17	森
13:30～14:45	75	フリーディスカッション	グループと全体でのディスカッション	森 岸
14:50～15:35	45	講義9 プログラムの評価	講義	長野
15:40～16:00	20	閉講式	修了書の配布 アンケートの案内	事務局

※昼食休憩時間が50分ですので、各自で昼食をご持参することをお勧めします。

★用語説明

- ピア・サポート (Peer Support) 子どもたち同志で支援することができる力をトレーニングやサポート活動を通じて育成し、思いやりあふれる学校風土を醸成していく教育活動
- ピア・サポーター (Peer Supporter) ピア・サポート活動のトレーニングを受けた児童・生徒・学生
- ピア・サポートトレーナー (Peer Support Trainer) サポーターとなる子どもをトレーニングする教師
- ピア・サポートコーディネーター (Peer Support Coordinator) トレーナーを養成するスーパーバイザー

★ワークショップ修了後のピア・トレーナー資格認定申請手続きについて

1. 日本ピア・サポート学会に入会していること(入会金 3,000 円 年会費 5,000 円)
2. 養成研修修了証明書(今回のWS)を添付して申請書を提出すること(審査料 5,000 円)
3. カウンセリングに関する研修歴が 24 時間以上あること(研修証明書の写しを提出)
4. ピア・サポートに関する実践レポートを提出すること(A4用紙に 4 枚程度)
5. トレーナー資格は 5 年後に更新手続きをしなければ失効します